ミッション

第116号

総力を上げて支援を行います。自閉症を中心とした知的障が い者の い明るい 未来を

ロナ禍のもとでの利用者 支 援

(隣人)として、利豊かな自然の中で、こくビジョン

利用者とともに歩み続けます。、社会に生きる障がい者の良きパ

ナー

開くため、

社会福祉法人 槇の里 理事長 岡 部

邦

を受けて、 りますが、 また9月に予定している「お楽しみ ない、厳しい状況が続いております。 とさせていただきましたので、 月に予定していた「一時帰宅」も中止 面会自粛をお願いしており、5月、 どのような形で実施するのか十分検討 会」と12月の「クリスマス忘年会」も の皆さんには半年もの間ご両親に会え り様変わりしてしまいました。 「グループ旅行」や「槇の里祭」は、 念ながら中止とさせていただきます。 2月に開催した「歌の祭典」 7月の「夏祭り」も利用者の皆さん 今年度も上半期を終えようとしてお 員のみで開催しましたが、 学園の日々の生活もすっか 新型コロナウイルスの襲来 恒例 利用者 以降、 8

にありますのでこれらを十分に活用し

幸いにも学園は豊かな自然環境の中

て、利用者の日々の生活に変化と潤

様々な工夫と実践を

重ねて参ります。 を作り出すべく、

様々なストレスを抱えての日々を送っ からも全力で支えて参ります。 に耐えようとしている皆さんを、 ておられることと思われますが、 て経験したことのない状況に直面し、 利用者の皆さんは、 この半年は 懸命 かつ

すので宜しくお願いいたします。 察いたしますが、 もどかしさを感じておられることと拝 ない中で、 **亅寧なご連絡、ご報告に努めて参りま** 保護者の皆様には、 お子さん方の生活を案じ、 今まで以上に緊密、 長期間面会でき

こたいと考えております。

新型コロ

ナの感染状況は、

非常事態

社会福祉法人 模の里 学 虚

理の中ではその真偽が質されることは ようになった」と陳述しましたが、審 事を与えるというよりも流し込むよう ありませんでした。 害者は不幸であり、その家族や周囲も な感じで利用者を人として扱っていな 不幸にする不要な存在であると考える いように感じたことなどから、重度障 た頃は障害者をかわいいと思っていた 植松死刑囚は公判で 職員が障害者に暴力を振るい、食 「園で働き始め

為が行われていた。県に対しても、 外部の情報提供で浮上し、県が設置し 善を求めた」ということであります。 置者としての役割認識が不十分と、 単に職員の見守りが困難といった理由 指針に定められた要件を満たさずに、 たとの新聞報道を目にいたしました。 ら、この程「中間報告書」が提出され た第三者による「支援検証委員会」か 長期間行うなど、 で身体拘束をし、24時間の居室施錠を それによると「障害者虐待防止法の ところが、この園での虐待の疑い 虐待の疑いの濃い 改 設 が

勢いで全国に拡大しており、 宣言が解除されて以降、 さない状況が続いております。 以前にも増す 予断を許 たる思いがいたします。 的に行われていたという事実に、 付けるような暴力的処遇が集団で日常 県立の施設で植松死刑囚の

年が過ぎました。 ゆり園利用者殺傷事件」が発生して4 の緊張感を持って、コロナウイルス終 利用者の思いに寄り添い、 息の日を待ちたいと思っております。 る障がい者の良きパートナーとして」 ところで、世間を戦慄させた「やま 学園のビジョンに謳う「社会に生き 今まで以上

> とを求めますが、この現実を他山の かにして事実究明に真摯に協力するこ

7 す 石 関係者には、

自らの処遇の実態を詳

5

やまゆり園

暗澹

陳述を裏

ど開発作業を進めております。 ステムの再構築に取り組んでおります 改めて顧みる機会にしたいと思います。 み学園における処遇のあり方につい として受け止め、コロナ禍の中、い 活用・共有のツールが整備出来るよう の選定やIT環境の整備計画の策定な コンサルタント会社と契約し、 します。 のプロジェクトについてご報告いた 利用者の処遇の向上につながる情 次に、学園が現在取り組んでいる2 「ICT委員会」を立ち上げ情報 ソフト

を受けて実施いたします。 備の設置工事」を東京都からの補助 防災対策の一環として「自家発電設

鋭意作業を進めて参ります。

を進めて参ります。 りますので、事業者にはコロナ対策を し、利用者の生活に十分配慮して工事 はじめ工事の安全確保の徹底をお願 居住スペースと近接しての工事とな

願 りますので、皆様の激励とご支援をお 援と施設機能の充実・強化に努めて参 コロナ禍のもとにあって、 いいたします。 利用者支

粋し編集いたしました。 (8月8日ケース会議での講話) から学びました。

現状では「新型コロ職員も様々な出来事

給に努めたりと、

は手をつくしてガソリンや日用品の補を学んだり、東日本大震災の物不足で増築工事で利用者の特性に応じた配慮

るものだと思います。

かつて生活棟の

もうひとつは、

職員の経験と努力によ

自分の暮らしをつくってきました。

長・看護師・栄養士・支援職員等で構

が検討を重ねていますが、

用者

ナウイルス感染症対策委員会」

さ

な

み

社会福祉法人槇の里いすみ学園支援課長井コロナ禍における現状

上

秀

配慮して専門的な支援を行っておりま 由時間の選び方や楽しみ方など、当た を掲げたいすみ学園では、働くことの と思います。【大人として働く暮らし】 つは、利用者が学園生活で様々な経験 混乱はみられていません。要因のひと 続いています。 り、これまでにない長期の活動制限が もちろん、職員は利用者の障害特性に 厳しさと喜び・守るべき決まり事・自 を重ね、許容範囲を広げられたことだ ていました。しかし、今日まで大きな や旅行など、出来ていたことが出来な ·前の暮らしを大切にして参りました。 状況で困る利用者も多いはずと考え 、イルスが相手ですから、 新型コロナウイルス感染症対策によ 利用者は何年も何十年もかけて学 しかも見えないコロナ 帰宅や外食

きれると信じています。 実施、 持った行動を求められています。 口 頼もしい限りです。利用者も職員の思 内容でも毎月の楽しみを保障しようと、 夏祭り、8月もお楽しみ会で利用者の 徹底していますし、勤務外でも自覚を 外部との接触はなく、 してくれているのだと思います。"コ いを受け止めて、つらいながらも協力 力を注いでくれています。 夜に花火大会を行うなど、例年と違う 余暇活動の演出を工夫し、 オ鑑賞やおやつ作り、7月は体育館で トや職員が調理した昼食の提供・ビデ ィークは学園内で楽しむお楽しみ会を の支援の他にも、5月のゴールデンウ い状況でも利用者に明るく接し、 職員からだけです。職員は利用者の休 も示しています。 の外出制限だけでなく職員の外出自 ナ"の終息まで、 の買い物(代理で購入)でも消毒を 6月は作業班ごとにテイクアウ 利用者は学園生活 一丸となって乗り 感染の可能性 別の日には 身内ながら 日々 厳し

成年後見とライフプラン

社会福祉法人 槇の里 いすみ学園 課長補佐 軽 込

進

いすみ学園は高齢者検討委員会の最終報告で、利用者にとっての「終の棲家」であると明言した。このことはこれから様々な意味で変容を遂げていくれから様々な意味で変容を遂げていくれまで以上に寄り添っていくことを意味している。今後利用者にとって課題となるであろうことの一つとして、自思をなるであろうことの一つとして、自閉症という障がい特性ゆえに医療との向き合い方が重要であると、この「さざなみ」の中でも申し上げた。今回はそれ以上に懸念されることに目を向けてみたいと思う。

発達障害を抱えた子どもをもった親発達障害を抱えた子どもたちが、今となったあとにこの子どもたちが、今と同じように、そして安らかにその人生を終えることができるのか、であると思う。今、いすみ学園においても、その思いを抱えたままで人生を終える保護者が少しずつ出始めている。しかしその想いを死後につなげる方策はあまりにも遠いように感じられる。

ディングノート」といった方が良いか私は感じている。本来で言えば「エンっては似つかわしいものではないと、被後見人の立場に近い利用者たちにとンシャルプランは本来的にはファイナライフプランは本来的にはファイナ

7

いる。

意味でより良い人生を送る方法を知る意味でより良い人生を送る方法を知るのなのではないだろうか。保護者の高めなのではないだろうか。保護者の高齢化はもとより、利用者の平均年齢ですら50代に届こうとしている。もうそれほど時間は残されておるずるのあるライフプランの創設が必要とされている。

るまでには時間がかかるが、そのプラ とではないだろうか。今、 とは、利用者の人生にとって幸せなこ とした人たちがいたこと、そういった ことを真剣に考え、一所懸命に守ろう うな形であれ、利用者にとって自分の やはり私は必要だと思いたい。どのよ か、自問自答する日々が続いているが 用者にとってライフプランが必要なの 族像には寄り添えていない。本当に に作成していただいた。しかしその内 ンの一つ一つが利用者とその家族にと としている。まだまだ実際に運用され では新しい形のライフプランを作ろう 容は不十分で、現状の利用者とその家 で「ライフプラン」を保護者の皆さん 人たちが思考を透徹した結果があるこ て、より良いものであるように願 かつて私は成年後見制度検討委員会 いすみ学園

利用者の方もいらっしゃいました。し が参加できず、非常に残念にしている かしお祭りが始まると、表情も晴れや での開催となりました。保護者の方々 流ホームにて開催致しました。 7月11日出令和2年度の夏祭りを交 「新型コロナウイルス」の影 利用者の皆さんと職員のみ

りました。岡部理事長の挨拶の後、 開会の挨拶は、清水さんの挨拶で始ま 神輿と女神輿の登場です。 今年も二部構成の企画としました。 男

かになり、皆さん存分に楽しんでいま

度「きよしのズンドコ節」を叩き、 を、夏のBGMを聞きながら頂きまし タイムです。 祭りを締め括りました。 二部からは、 最後に利用者の皆さんで、 「夏祭り特別メニュー」 皆さん楽しみのおや

和太鼓を使い、演奏を行いました。 練り歩き、 鼓の音で、 節」を披露しました。その後、 今年は、 を上手に叩いてくれました。 の皆さんも一緒に演奏し、勢いある太 会場を盛り上げて頂きました。 女性利用者のYさんは、「東京音頭 続いて一部の最後は盆踊りです。 職員による「きよしのズンドコ 保護者会より寄付して頂いた 会場は更に盛り上がりまし 途中で岡部理事長も加わり、 利用者 そして





お任せしましたが、 当日の支援はそれぞれのグループに 様子を見に行くと、

(支援員

高地

優輔

(夏休み余暇活動) お楽し

「ワッショイ!」の掛け声で会場を

新型コロナウイルス感染症対策で外出 暑い日が続きました。折角の夏休みも いて受け入れてくれました。 制限が続きましたが、 8月の そんな中、8月13日 「夏休み」は太陽が眩しく 利用者は落ちつ

用者の人数や活動内容に合わせて職員 ムグループの3コースから利用者一人 もの休日より少し特別な計画を準備し て "第2回お楽しみ会" を実施しまし 太鼓グループ②DVDグループ③ゲー 一人に好みの活動を選んでもらい、 (午後) にい ①カラオケ& 利



した。 吹き飛ぶ、 会うことができました。準備の疲れも が響き、たくさんの利用者の笑顔に出 魚釣りゲームでの歓声など、喜びの音 動・ドリフターズのコントに大爆笑・ 写真付きお知らせでお伝えできると思 いますが、カラオケの歌声・太鼓の振 活動の様子は保護者の皆様へ毎月 賑やかで穏やかなひと時で (支援主任 鈴木 典子)

に盛り上がって楽 用者と職員が一緒 どのグループも利

も利用者の楽しみ 保護者会から

ざいました。 提供していただいたお菓子と飲み物も 大変喜ばれていました。 ありがとうご



ざ

災害対策についいすみ学園の

と様々な災害がと地震、水害、火災思い浮かべますか?地震、水害、火災

浮かぶかと思いますが、私たちの日常生活は常の恐怖と隣り合めせで生活をし



害が無かった事が、 る災害がその件数を増してきておりま 損はありましたが)、何よりも人的被 園では大きな被害は無く っていますが、当学園が居を構える も新しいかと思いますが、「水」によ 被害をもたらしました。 ディア等では日常的に耳にする様にな 方を中心とした豪雨災害はまだ記憶に 台風が上陸、 「千葉県」においても、昨年は3つの 西日本豪雨」や今年の7月に九州地 その中でも近年では特に一昨年 「スーパー台風」なる名称も、 接近し県内各地に甚大な 何よりもの幸いで 幸いにも当学 (幾つかの物

さ

き出しました。その第一歩が今年度発自然災害に備えなければならないと動営する数多くの法人がその被害を受け営する数多くの法人がその被害を受け

難を想定して、 を進めていきたいと思います。 まだまだ不十分な点が多いですが、 えております。委員会の活動としては 話であり「もしかしたら」の部分を、 施設の防災対策も意見として参考にさ ュアルの再点検から始まり、 足した「防災委員会」です。 今後強めて行かなければならないと考 おいては無縁でしたが、それは過去の せて貰い、その一つとして7月に初め ついても取り組んでおります。 イトを設置する等のハード面の強化に 合言葉に今後もいすみ学園の防災対策 て「炊き出し訓練」を実施しました。 「自分たちの身は自分たちで守る」を これまで災害による被害は当学園に 備蓄品の確認やBCP、 ベランダにソーラーラ 夜間の避 避難マニ 委員会で 又

(支援主任 片岡 彰則)



炊き出し訓練

七月二十五日出、支援員による炊き出し訓練を実施しました。近年災害が多く、防災対策を講じる必要性が高ま多く、防災対策を講じる必要性が高ま



のでした。焦げないようにかき混ぜてました。メニューはカレーライス、大乾燥米にお湯を入れてしばらく置いて乾燥米にお湯を入れてしばらく置いておくと出来上がるもので、カレーのル

が調理したカレーライスを食べました。
対で出かけてもらい、帰園したらおやでにカレーライスを食べる事にしました。戻って来た利用者の皆さんは、地た。戻って来た利用者の皆さんはドラインで出かけでもらい、帰園したらおや



今回、食数として一二○人分のカレーライスを用意し、利用者の皆さんは つ論、出勤している職員全員に振る舞者の皆さんが、おかわりをするなど、 美味しく食べていたのが印象的でした。 一今後、学園では避難訓練だけでなく、 炊き出し訓練も取り入れて、防災意識の強化をしていきます。

(支援主任 三上 慎一郎)

去る令和2年7月1日水、

神保電器

さ

な

み

(5)

会田さん 勤続30年の永年勤続表彰

総表彰の式典に参加して来ました。会 にないが、平成2年の6月のことです。 がたのが、平成2年の6月のことです。 い、多くのことを教わり、さまざまな とた。その間たくさんの人たちと出会 い、多くのことを教わり、さまざまな とい、多くのことを教わり、さまざまな を対しました。会 のことを教わり、さまざまな を対しますが、神保電 といい、多くのことを教わり、さまざまな を対しますが、神保電 といい、多くのことを教わり、さまざまな はないの日々の努力の積 な重ねの賜物ではありますが、神保電 といい、多くのことを教わり、さまざまな とと思います。 もちろん、会田さんの日々の努力の積 な重ねの賜物ではありますが、神保電 といい、多くのことを教わり、さまざまな といい、多くのますが、神保電 といい、多くのますが、神保電 といい、多くのますが、神保電 といい、多くのますが、神保電 といい、多くのますが、神保電 といい、のものがよりますが、神保電 といい、のものがよりによって今日があ

ートやバックアップによって今日があ



関き続き、就労者の先駆者として、 は域生活者として、いすみ学園を盛り 上げて行って下さい。そして、これからも人との絆を大切にして行きながら、 会田さんらしい活躍を心より期待しています。最後に神保電器様、この度はいます。最後に神保電器様、この度はいます。最後に神保電器様、この度はいます。最後に神保電器様、この度はいます。最後に神保電器様、この度はいます。最後に神保電器様、この度はいます。最後に神保電器がある学園を盛り、コロナ禍で閉塞感のある学園において、 この度はおめでとうございます。
、大変の場に居合わせた私にとっても、大変の場に居合わせた私にとっても、大変の場に居合わせた私にとっても、大変の場に居合わせた私にとっても、大変の場に居合わせた私にとっても、

花火大 ペ 大 へ

き飛ばしてくれました。
と最後のイベントとして花火大会を開きました。保護者会より寄贈された、きました。保護者会より寄贈された、およそ二百発の打ち上げ、吹上花火がおよそ二百発の打ち上げ、吹上花火がおよりで

(支援主任 長沼 毅)





願い致します。(順不同 敬称略)と共に、今後とも尚一層の御協力をおを頂きました。厚く御礼申し上げます次の皆様方から、たくさんの御寄附

エー・平山里佳・小林礼子・星野桂三

南かよ子・坂本陽子・鈴木之子・内

田辺印刷・いすみ警察署・㈱ビーアイ

(寄附物品)

ットサロン三上・鳴嶋三佳・眞殿みや・㈱西川・厚生労働省・中村洋子・カ

子・布野こう子・鈴木はる子・村上寛産㈱・橋本美峰・指田三枝子・曽我直山重浩・河崎晋也・乙黒幸二・小澤物

(支援主任

屋代

精

善寺・森貴子・佐戸真砂美・いすみ学 本設備工業・鈴木敦子・最首克彦・ 勝彦・釣ひろみ・久保田美智子・旬松 さ・㈱オタフク・侑岬サービス・最首 ㈱・皆川会計事務所・松井・笹川なぎ 甫・西村秀美・三代文子・下杉智佳子 依子・㈱あらた・大島洋子・早川亜里 辺規子・コカコーラ・東京都福祉保 美・佐藤京子・若泉仁・阿部栄子・ ツ・齋藤久美子・吉田電気・長谷川廣 田武子・斉藤・宇津木愛・㈱新清ハイ 協会・黒澤まゆみ・㈱成美学園・久保 林・秋山京子・頼和太郎・日本自閉症 園保護者会・築柴裕美子・山道理香 子・中垣徹・後藤由美・佐藤里子・法 おこ・田口広之・鎌田愛子・久野雅子 江・井橋英里子・いすみ苅谷郵便局 いすみ市福祉課・田垣さだ子・池田 ミ㈱・佐藤めぐみ・杉山・市川直子・ 郎・千葉県ヤクルト販売㈱・千葉ノー 湯浅啓子・山田あきこ・三菱重工冷熱 局障害者施策推進部・稲葉理恵・宮田 山田雅士・橋場菊栄・栗田直子・平な 下屋せつ・佐賀美夕紀・栗原久美子 佐々木由美子・アクアフレーム街 石野薬局・コルコート㈱渡柳工場・ 長谷川麻里子・小川美香・平山美貴 遠藤有紀子・橋本典子・野川信太

(単位:円)

決算報告 令和元年度 社会福祉法人 槇の里

貸借対照表

資金収支計算書

事 業 活 動 計 算 書

令和2年3月31日 現在 自 平成31年4月1日 ~ 至 令和2年3月31日 自 平成31年4月1日 ~ 至 令和2年3月31日

(一般会計)

(一般会計) (単位:円						
資産の部						
科目	金額					
流動資産	465,462,865					
現金預金 事業未収金 未収補助金	407,769,150 57,693,715 0					
固定資産	644,283,472					
基本財産	418,232,680					
土 地(基本財産) 建 物(基本財産)	108,353,723 309,878,957					
その他の固定資産	226,050,792					
建物 構築物 車輌運搬具 器具及が リフトウは引立資産 を 経りすりで引う資産 修繕整積立等資産 修設整積立 連設を有立 を 建設で を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	7,331,602 9,296,502 8,618,017 15,445,128 111,300 428,701 33,983,882 0 10,000,000 99,200,000 41,570,000 65,660					
資産の部合計	1,109,746,337					

負債の部						
科目	金 額					
流動負債	42,324,030					
事業未払金 職員預り金 賞与引当金	8,930,279 3,482,751 29,911,000					
固定負債	33,983,882					
退職給与引当金	33,983,882					
負債の部合計	76,307,912					

純資産の部					
科目	金 額				
基本金	276,311,079				
国庫補助金等特別積立金	154,460,373				
国補 施設整備 国庫補助金等特別積立金	133,533,300 20,927,073				
その他の積立金	150,770,000				
人件費積立金 修繕費積立金 施設整備等積立金 建設積立金	0 10,000,000 99,200,000 41,570,000				
次期繰越活動収支差額	451,896,973				
次期繰越活動収支差額 (うち当期活動収支差額)	451,896,973 ▲ 6,427,365				
純資産の部合計	1,033,438,425				
負債及び純資産の部合計	1,109,746,337				

(-	般会計) (単位:円)					
		科目	予 算	決 算	差 異	
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入 経常経費寄附金収入 借入金利息補助金収入 受取利息配当金収入 その他の収入	412,474,000 9,128,000 0 16,000 17,946,000	423,214,599 10,736,220 0 28,326 5,853,435	▲10,740,599 ▲1,608,220 0 ▲12,326 12,092,565	
		事業活動収入計	439,564,000	439,832,580	▲268,580	
	支出	人件費支出 事業費支出 事務費支出 支払利息支出	294,064,000 67,852,000 56,674,000 0	298,648,285 68,328,832 59,030,266 0	▲4,584,285 ▲476,832 ▲2,356,266 0	
^		事業活動支出計	418,590,000	426,007,383	▲7,417,383	
	計	事業活動資金収支差額	20,974,000	13,825,197	7,148,803	
施設整備等による収支	収入支出	施設設備等補助金収入 施設設備等寄附金収入 設備資金借入金収入 固定資産売却収入 その他の施設整備等による収入	14,431,000 0 0 0 0	11,431,000 3,000,000 0 0	3,000,000 A 3,000,000 0 0	
		施設整備等収入計	14,431,000	14,431,000	0	
		設備資金借入金元金償還支出 固定資産取得支出 固定資産除却・廃棄支出	39,181,000 0	0 37,155,187	0 2,025,813 0	
		施設整備等支出計	39,181,000	37,155,187	2,025,813	
	計	施設整備等資金収支差額	▲24,750,000	▲22,724,187	▲2,025,813	
その他の活動による収支	収入	役員等長期借入金収入 積立資産取崩収入	0 21,127,000	0 19,126,620	0 2,000,380	
		その他の活動収入計	21,127,000	19,126,620	2,000,380	
動に	支	積立資産支出	2,491,000	2,529,540	▲38,540	
よる点	出	その他の活動支出計	2,491,000	2,529,540	▲38,540	
芠	計	その他の活動資金収支差額	18,636,000	16,597,080	2,038,920	
予	予備費支出		14,860,000	0	14,860,000	
当	期資	金収支差額合計	0	7,698,090	▲7,698,090	
前	前期未支払資金残高		445,351,745	445,351,745	0	
当	期末	支払資金残高	445,351,745	453,049,835	▲ 7,698,090	





る機会となりました。

故大林宣彦氏

は 8 当

ŋ

0

) 日常

かて

噛

2

Ĺ

ると



題 字 (さざなみ担当 は 西 村 雅

> 志津 精

子

子

さ

h

葉を遺されています。 味をもう一 に日々の暮らし いと思います。 不便と我慢 いうのが文化の暮ら 現状です 度考えてみよう」 はがある。 が、 を丁 からご褒 寧に紡 用者の皆さん 未だ先行きの أ 幸せ ٤ 美を貰え 17 で 61 う 0 61 لح 意 # 見 言

えない

前 型 コ Ė 編 ナウイル の尊さを改 集 ス 八感染拡 後 大は、 記

を決定 だきますようお願 H 誠に残念です ル 61 ス感染拡 すみ学園 (土) す カ学園 しました。 第 36 大防 では、 口 施設長 が、 0 止 新 何 里 0) 17 します 卒ご ため、 型 コ 理 0 口 解 中 10 ウ 勉 月 止

中36 口 槇 **(7)** 知 里 6 祭 せ